

宮城県産ギンザケ『銀王』を世界に
(被災中小企業施設・設備整備支援事業)
株式会社マルキン

事業概要

当社は昭和10年創業、平成19年に法人化し、ギンザケとカキを中心とした地元海産物の加工販売を行っています。宮城県は養殖ギンザケの生産量が全国一であり、実に全生産量の9割以上を占めています。県生産量に占める女川町の生産割合は5割以上。その女川町において当社は昭和52年に町で初めてとなるギンザケの養殖を開始し、以来30年以上に亘り業界のパイオニアとして県産養殖ギンザケの普及に努めてきました。養殖ギンザケの自社ブランド名は『銀王(ぎんおう)』。鮮度の良さを売りにしています。『生産者の顔が見える流通』を経営理念に、生産(養殖)から加工・販売までの一貫体制をとることで高鮮度を実現しています。現在は刺身用の展開にも注力しており高い評価を得ています。

東日本大震災では養殖施設、加工施設等の全ての施設・設備が津波で流失しました。養殖施設の復旧には水産庁の養殖施設災害復旧事業を、加工施設の復旧には経済産業省のグループ補助金とともに、[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)を活用し、完全復旧を果たすことができました。

今後の展開として、今年8月から日本初の養殖漁業改善プロジェクトをスタートさせる予定です。このプロジェクトは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで使用される食材として当社の養殖ギンザケの納入を可能とするため、養殖水産物に関する国際認証を取得するもので、当社のギンザケのおいしさと安全性を世界各国のオリンピック・パラリンピック関係者に味わっていただくことを海外展開の第一歩にしたいと考えています。今後もこうした取り組みを続け、高鮮度で安心安全な県産養殖ギンザケを国内外に広めていきます。

事業者の声

無利子貸付の[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)は復旧資金として大変助かりました。今後も県産養殖ギンザケを国内外にPRしていきます。当社自慢の『銀王』をぜひお召し上がりください。



【 養殖場の様子 】

事業者概要

代表者：鈴木 欣一郎
住所：牡鹿郡女川町小乗浜字小乗1番地22
TEL：0225-50-2688
URL：<http://www.kaki-marukin.com>
E-mail：info@kaki-marukin.com
従業員：25名
事業内容：ギンザケ・カキ・ホタテ等の販売



【 自社ブランド『銀王』 】

[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)は、グループ補助金等の認定を受け、復旧・復興を目指す中小企業者の方等に対し、復旧資金の無利子貸付を行う事業です。